

阪神淡路まちづくり支援機構

熊本地震被災者への「ワンパック専門家相談隊」

参加レポート

兵庫県土地家屋調査士会 社会事業部員 天野泰志

概要 2016年6月10日 南阿蘇村訪問、ヒアリング
と視察

2016年6月11日 午前西原村、午後・夜間益
城町で相談会

2016年6月12日 御船町で相談会

一日目 2016年6月10日（金）

兵庫県土地家屋調査士会副会長 三嶋裕之先生、社会
事業部長 高橋雅史先生とともに熊本へ入る。

13時熊本着。一路南阿蘇村へ向かう。

15時、南阿蘇村役場にて総務課 桐原恵氏よりヒアリ
ング。被災状況、罹災証明の発行、生活支障地域での
仮設入居等について説明を受ける。



南阿蘇村役場 会議室の天井。役場の建物も被災して
いる。

17時、白水中学校に場所を移し、不動産鑑定士 佐藤
麗司朗先生より、現地での住家被害認定調査の現状に
ついてヒアリングを受ける。



白水中学校のグラウンド。現在は臨時のごみ集積場所
として使用されている。

二日目 2016年6月11日(土)

9時30分、西原村 山西小学校着。打ち合わせの後、10時より同校理科室にてワンパック相談会開始。



区長 大谷幸一氏より西原村の現状についてのヒアリングを受ける。



ワンパック相談会での三嶋副会長と高橋部長。司法書士の先生方とともに個別相談に対応する。

13時、技術士 矢ヶ部秀美先生の案内で、益城町内の



断層の亀裂個所を視察。現地では断層の亀裂を視認できる。



田畑の畔が約2メートル、地震の影響でずれている。



断層の亀裂を調査中の京都大学の研究チームより説明を受ける。



農道が崩壊している。

また付近の多くの建物が被災し、ブルーシートが掛けられている。



馬水北公民館

14時30分、益城町 馬水南公民館へ移動。馬水南公民館、馬水北公民館と2班に分かれ、15時より1回目の相談会を開始。



馬水南公民館



北公民館での相談会の様子。

18時、2回目の相談会開始。

北公民館の班は、近隣の広安小学校に場所を移し、臨時の相談会を開始する。



南公民館での個別相談に対応する三嶋副会長と高橋部長。



広安小学校体育館は、現在非難所として使用されている。



体育館横のテントを間借りし、体育館で避難生活を送っておられる被災者の方々に声を掛け、臨時の相談会を開く。相談会終了の 20 時ぎりぎりまで数多くの被災者が相談に来られた。

今回、阪神淡路まちづくり支援機構主催の、熊本地震被災者への「ワンパック専門家相談隊」に、兵庫県土地家屋調査士会 社会事業部員として参加させて頂きました。

自分の目で見た熊本の現状は、やはり「酷い」の一言です。特に益城町ですが、町全体が崩壊していました。文字通り言葉を失いましたし、地震により倒壊した建物の多くが、地震から 2 カ月が過ぎた今でも、ブルーシートが掛けられたままの状態で放置されている事実、胸が塞がりました。そして今回訪れた全ての地域で、復興が思うように進んでいないように感じられました。

また相談会においては、相談に来られた被災者の多くが、やはり「どこに（どの士業に）相談に行けば良いか分からない」、そして多くの被災者が「ひとつではなく複数の士業の知識と対応を必要としている」ことを感じました。

そのような意味において、8 つの士業が共同で行う「ワンパック相談会」は、被災者の困難に寄り添った支援を可能とする大変重要なかたちであると思います。

ただこのような支援の在り方は、被災者の立場に立てば、ある程度の常態性と継続性が必要です。そのためにはやはり地元の士業の先生方による、連帯した支援が必要となります。

実際に個人的にですが、地元熊本の税理士の先生から

も、技術士の先生からも、「各士業がばらばらにではなく、共同で被災者の支援にあたる阪神まちづくり支援機構のような団体の必要性を強く感じている」とのお話をお聞きしました。

今後は熊本のように、士業共同による支援団体を必要とする地域に、その設立のノウハウをお伝えすることも、阪神淡路まちづくり支援機構の非常に重要な役割となるように感じます。

それからこれは全く個人的なことなのですが、私自身は自分の土地家屋調査士という仕事が、このような大きな災害のあった地域に対し、広く貢献できる仕事であることに初めて気が付きました。自分の仕事について、新たな視座が自分の中で生まれたことが、今回の熊本での相談会に参加したことの、最も大切なことであつたように思います。

最後になりますが、今回このような機会を与えて頂いた阪神淡路まちづくり支援機構、兵庫県土地家屋調査士会、社会事業部の各先生方、熊本にご同行させて頂いた三嶋副会長、高橋社会事業部長に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

また今回の地震で被災された熊本の皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。